

**ご使用前に  
お読み  
ください**

本キットの取扱い及び検査対象物の取扱い時には、保護措置として手袋及びゴーグルの装着が必要です。ユニットに穿孔しないでください。一旦ロックしたプローブは取り外さないでください。万が一内包液体が漏れた場合、液体の付着した箇所を水で洗い流してください。子供の手の届かない場所で保管ください。全て推定結果となります。必要に応じて、薬物検査機関にて検査を行うことにより詳細な識別を行う事ができます。

テストの準備

**1** Smart-Tip<sup>™</sup> プローブを取り外してください。



**2** 疑わしい物質もしくは物体表面からサンプルを採取

植物

白色粉末

Smart-Tip<sup>™</sup>で疑わしい物質のサンプルを採取します。先端を検査対象物で完全に覆って下さい。

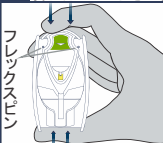


Smart-Tip<sup>™</sup>で疑わしい物質のサンプルを採取



テストの準備

**3** Smart-Tip<sup>™</sup> プローブをテストユニットに固定します。しっかりと押し込んで下さい。



**注意**

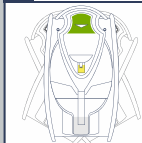
プローブがフレック  
スピンで固定されな  
いままテストを行わ  
ないでください。

検査

**4** 親指を押し込みます。チェンバー1内のカプセルを割ります。



**5** テストユニットを2~3秒やさしくシェイクします。



結果



1分以内に黄色へ変色の場合、ナフトイルインドール、ベンゾイルインドール、ナトイルピロールなどの合成カンナビノイド(通称:K2、スパイス)が存在することを示します。



1分以内に黄色に変色しない場合は、上記の薬物は存在しません。

\* 以下の物質には反応しません。古典的カンナビノイド、非古典的カンナビノイド、Phenylacetylindoles。



発色の有無にかかわらず、希釈(ステップ6~9)に進みます。



サイド 2 に続く



## サイド2

希釈（液体を混ぜる）

6

親指を押し込んで  
チェンバー2内  
のカプセルを割ります。



7

テストユニットを  
2～3秒やさしく  
シェイクします。



テストウィンドウの温度が若干上がります。  
これは正常です。

希釈（液体を混ぜる）

8

親指を押し込んで  
チェンバー3内  
のカプセルを割ります。



9

テストユニットを  
2～3秒やさしく  
シェイクします。



テストウィンドウの温度が若干上がります。  
これは正常です。



廃棄方法

希釈後のテストキットは、ゴミ箱に捨てても問題ありません。

JPN  
07/22

オンライン説明書

<https://adva-tech.co.jp/tkm/>



オンラインアクセス

### 重要事項

重要事項

1. IDenta Touch&Know<sup>™</sup> Discreet Drug Test Kitsは、粉末や結晶などの物質中の特定の薬物の存在を測定するために使用されます。
2. すべての結果は推定です。必要に応じて、有能な薬物検査室による更なる検査で、さらなる検証を行うことができます。
3. 色の変化は、最初の1分間で起こった場合のみ、リストに記載された薬物の陽性結果を示す。
4. 最初の1分間で色の変化がない場合、リストに記載されてある薬物は検査対象サンプルに含まれていません。
5. 1分後、サンプラーと液体が変色し始めることがありますが、これは検査過程の正常な部分であり、この色の変化には意味はありません。